「サセボ商工新聞」S51.2.13

「むつ」見返りの思惑

あらゆる形での経済援助求める

三木首相は十日、久保知事と辻市長に対し、原子力船「むつ」を佐世保港で修理してほしいと正式要請した。

昨年六月「要請があれば検討してもよい」という辻市長の発言から火が付き、ここまで現実化した裏には不可解な政治のメカニズムと、辻市長が掲げる見返り条件、それに米軍基地縮少に伴う自衛隊増強など、波及効果を期待する不況下の地元企業や経済界の思惑が絡んでいる。

辻市長は「むつ」受け入れの見返りに①長崎新幹線（博多―長崎）の佐世保ルート早期着工②針尾工業団地の造成③九州横断道路佐世保線の実現、④早大医学部の設置⑤石木ダムの建設など掲げる。「開発利益は当然。特に佐世保は米原潜、原子力空母入港など国策に積極的に協力してきた。その際それ相当のことをしてもらわねば…」。辻市長の論理は単純明快だ。

これらの条件は、ほとんどが昨年三月の市長選挙の

出の決め手なのだが…」というのは同商店街の山口松兵衛専務理事。「そのためにはやはり自衛隊さんに一役買ってもらわねばね」と暗に自衛隊増強が大きな期待であることをにおわせる。

その思いは同市の経済を支える佐世保重工も同じ。一昨年から二十五万トンタンカーの受注ゼロという苦境の中で、期待は海上自衛隊護衛艦の建造だ。軍港八十年の歴史を持つ佐世保は自衛隊に対する抵抗も少なく、ここにも政府の地元説得の"武器"が隠されている。

さらに問題なのは六月までに弾薬庫、燃料廠などを除く三〇％が返還される米軍基地。兵員も約百五十人に減る見通しから「返還規模が小さ過ぎる」との不満が強く、ここから「むつと引き換えに基地の返還を」という意見が出てくる。かって原潜と名切地区を引き換えたように…。

「むつ」の修理場所については、米軍立神係船地を期待する声がある。同係船地は以前から返還希望が強く、返還後は一―五岸壁はSSK、六岸壁は市の公共ふ頭、七―九岸壁は自衛隊と米軍の共同使用というプラン。米軍側の縮少計画手直しで、同係船地が返還対象から外れたため「むつ」受け入れと結びつけて返還を求める動きが各方面から出てくるものとみられる。

「むつ」の見返りは当初三百億円などといわれていたが、国自体にその余裕はなく、市としては地方財政のテコ入れを含め、あらゆる形での経済援助を求めていく形になる。この場合、最大のカギは自衛隊と米軍基地にあることは疑いないようだ。

預金、貸し金とも減る

手形交換高も減り不況反映

一月末勘定表

佐世保銀行協会（親和、十八、佐賀、福岡の四行、十八店舗）は、一月中の預金、貸し金の動きをこのほどつぎのとおり明らかにした。

反面、貸し出しの減少は越年を済まして資金需要が一段落したことがひびいたものとみられている。

預金を種別にみると、貯…前月に比べ九億四千百万円の減だが、前年同期に比べると十五億七千百万円の増。

このほか、通知預金は六…減ったが前年同月より十六億三千万円多い。

証書貸し付けは三百二十二億三千七百万円で、前月比四千万円、前年同期比四十九億九百万円の増。割引き手形は百七十三億九千八百万円で、前月より三億五百万円減ったが前年同期より十八億七千九百万円の増。

当座貸し越しは二億三千三百万円で、前月より九百万円、前年同期より八千五百万円の増。

経済活動のバロメーターともいえる手形の交換高は六万七千八百二十九枚、三百六十億四千万円。一日平均二千九百四十九枚、十五億六千七百万円が交換されている。

これは前月より三万五千百十九枚、百五十二億七千二百万円も少ない。前年同期に比べると六億三千万円の増加となったが、伸び率はかなり鈍化しており、深刻な不況の一面をはっきりしめしている。

一月中に不渡りとなった手形五十三人、百十二枚、二千二百五万円。前月に比べ七百七十三万九千円、前年同期に比べると九百十二万三千円の減少。このうち二十二人、二十八枚、六百七十七万円が取引き停止となったが、一枚当り額面は二十四万円。

五月に合同落成式

完成間近の佐世保食品団地

佐世保市大塔町に建設中の佐世保食品団地協同組合（理事長石田重雄氏、組合員十四社）は五月に合同落成式をする。

組合員工場と共同施設が四月末までにはほぼ完成、一社をのぞいて全部移転する見通しがついたため。中小食品製造業者の工場団地づくりは九州で初めて。

汚水はすべて共同処理場で着工した。

総面積八万六千二百十八平方㍍の用地を造成、五十年暮れまでに組合員五社の工場が完成、移転を終わった。続いて八社が四月中に完成、操業を始める計画。残り一社は五十一年度に着工移転する。

一方、共同施設は日量四百㌧処理能力の汚水処理場がすでに稼働しており、組…増を見込んでいる。

なお、同組合は約五千六百平方㍍の工場団地がまだ空いているので、あと二、三社の追加加入を市内の業者に呼びかけており、最終的には従業員約六百人の規模に拡大する方針。加入業者つぎのとおり。（カッコ内代表者、業種、資本金、従業員数）

△KK橋本国商店（橋本清…つけもの、つくだ煮、五十万円、二十五人）
△佐世保製麺KK（大川静雄、めん類、六百万円、五十五人）
△キリン食品工業KK（伊藤治一、はるさめ、ぎょうざ、七百万円、五十人）
△吉田黒棒本舗（吉田八郎、焼菓子、三百万円、十八人）
△吉田とうふ店（吉田照吉、とうふ、六十七万円、二十人）
△常盤豆（常盤正幸、豆類、五百万円、四十人）
△KKあり沙（北村縁義、洋菓子、百万円、四十五人）

キャベツなど暴騰

…することを決定通告した。

知事と辻市長は上京してその要請を正式に陳述した。

県漁連や革新団体ではまだまだ反対運動を展開しているようだが、決定通告に接した以上は、イデオロギー一本調子でなく、国際都市佐世保市民としての尊びに歩調を揃えて欲しいものである。今年の六月には米軍…

…表されてしまった。世の中がどのように文化的に進展をしても、金の力には…とはよく言われることであり、その金の前には頭が上らないことを露骨にぶちまけたのがロッキード事件とも言えそうである。このような…ことが公然と…しかも全世界的に…となると、喜んでよいのか…？、悲しむべき…